



天文台だより

銀河の森天文台
2010 冬号
Vol. 46

大盛況！陸別スターライトフェスティバル開催！

世界天文年2009 記念イベント

陸別スターライトフェスティバル



銀河の発見へ

1924年 エドウィン・ハッブル

M31内にケフェウス座デルタ型変光星を発見

その距離を80万光年と推定 > 30万光年

国立天文台渡部潤一准教授の講演会

銀河の森天文台では2009年10月17日(土)に、世界天文年2009記念イベントとして、「陸別スターライトフェスティバル」を開催しました。

金澤紘一陸別町長の開会挨拶の後、国立天文台渡部潤一准教授の講演会「ガリレオが開いた宇宙の扉」とオーロラ写真家中垣哲也氏のスライドショー&コンサートが行われました。フェスティバルには、札幌からのツアー客や北海道星見人の会メンバーなど多くの参加者があり、大盛況でした。また、イベント最後のお楽しみ抽選会では、家庭用プラネタリウムや双眼鏡など豪華景品が当たり、会場の参加者は大興奮でした。

この日は開館時間を特別に深夜12時まで延長していたのですが、生憎の曇り空で予定していた参加者が持ち寄った望遠鏡の展開・観望会はできませんでした。それでも北海道の星好きが集まっただけあって、2009年7月22日の皆既日食の映像紹介など館内での天文談義で盛り上がりました。

☆トピックス「国際宇宙ステーションと交信！」

日本人宇宙飛行士野口聡一さんが国際宇宙ステーション(ISS)の第22次/第23次長期滞在クルーのフライトエンジニアとして、2009年12月21日にロシアの宇宙船ソユーズで打ち上げられます。野口さんは、ISSに6ヶ月滞在し、2010年5月に帰還する予定です。

銀河の森天文台ではJAXAの公募事業として、2010年1月中旬頃、ISSが北海道上空を通過する時間帯で陸別町の子供達がISS長期滞在中の野口さんと交信するという大イベントを企画しています。条件が合えば、りくり望遠鏡でISSを追尾しながらの交信イベントになるかもしれません！本当に楽しみです。(村)



野口聡一宇宙飛行士 (写真: JAXA提供)

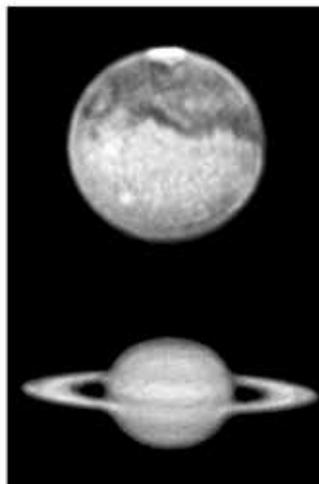


大盛況で行われた陸別スターライトフェスティバル

火星・土星が見頃を迎えます！

今年は火星が1月中旬から、かに座で見頃を迎えます。火星は2年2ヵ月ごとに地球に接近しますが、最接近するのは1月28日です。ですので、1月は火星が大きく見え、その模様を望遠鏡で観察するチャンスです。

土星はおとめ座の中にあつて、3月中旬から見頃を迎えます。



暦表

(陸別町)

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
1月 1日	6:54	16:03	15.6	16:26	7:16
1月 15日	6:51	16:17	29.6	6:44	16:11
2月 1日	6:38	16:39	16.8	19:19	7:29
2月 15日	6:21	16:58	1.0	6:29	18:11
3月 1日	5:59	17:16	15.0	18:07	5:53
3月 15日	5:35	17:34	29.0	4:55	17:05

天文行事 & 暦

1月

- 12/28-1/5 天文台休館日
- 1 ○満月
- 4 しぶんぎ座流星群が極大
(AM4時 最大40個/時)
- 5 小寒(24節気:太陽黄経285°)
- 15 ●新月
- 20 大寒(24節気:太陽黄経300°)
- 20-31 火星観望会
- 27 水星が西方最大離角
(光度:-0.1等, 離角:24° 45')
- 28 AM4時 火星の最接近
- 30 ○満月
- 31 火星が衝
(光度:-1.3等, 視直径:14" .1)

2月

- 4 立春(24節気:太陽黄経315°)
- 6、7 プラネタリウム特別公開
「オーロラってなんだろう？」
- 11、13、14 プラネタリウム特別公開
「スターライトキャラバン」
- 14 ●新月
- 19 雨水(24節気:太陽黄経330°)

3月

- 1 ○満月
- 6 啓蟄(24節気:太陽黄経345°)
- 17-28 火星・土星観望会
- 16 ●新月
- 21 春分(24節気:太陽黄経0°)
- 23 土星が衝
(光度:+0.5等, 視直径:20" .0)
- 30 ○満月

冬のイベント情報 !!

☆火星観望会

今年火星が1月28日に最接近し、1月31日に衝を迎えます。火星が接近するのは、2年2ヵ月ぶりです。

開催日時: 1月20日(水)~31日(日)

説明会: 午後7時から(土曜・日曜のみ)

☆プラネタリウム特別公開

小中学校への出前授業で使用している4mエアドームでのプラネタリウムコンテンツを特別公開します。

「オーロラってなんだろう？」

開催日時: 2月6日(土)、7日(日)

内容: オーロラの不思議を学習・体験します。

上映: 午後6時30分、7時30分の2回(1回40分)

定員: 各回20名(整理券配布)(入館料のみ)

「スターライトキャラバン」

開催日時: 2月11日(祝)、13日(土)、14日(日)

内容: 星座や宇宙について学習・体験します。

上映: 午後6時30分、7時30分の2回(1回40分)

定員: 各回25名(整理券配布)(入館料のみ)

☆火星・土星観望会

この時期、土星が見頃となります。夜空には火星も明るく見えていますので、火星の模様や土星の輪など春の天体と共にお楽しみ下さい。

開催日時: 3月17日(水)~28日(日)

説明会: 午後7時から(土曜・日曜のみ)

2010年太陽系天体みどころカレンダー

○: 満月
●: 新月

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
月	○1,30 ●15	●14	○1,30 ●16	○28 ●14	○28 ●14	○26 ●12	○26 ●12	○25 ●10	○23 ●8	○23 ●8	○22 ●6	○21 ●6
火星	中旬											下旬
水星				上旬	中旬		上旬		下旬		中旬	上旬
木星										中旬		
金星				下旬							中旬	
土星			中旬									下旬
日	★晴れた日は毎日、太陽望遠鏡によって太陽の様子を見ることができます。											

黒線の期間が各天体の見頃の時期となります。特に12月21日は皆既月食が見られます。月は欠けた状態で昇ってきて、16時41分から17時55分まで皆既の状態となります。今年も空から目が離せません!

「発見! 銀河の森」- 夜の森 -

銀河の森の夜空は満天の星が輝きとても賑やかですが、賑やかなのは空だけではありません。夜になって動物たちの活動が活発になり、森の中もなやま賑やかになってきます。夜遅く、天文台の仕事を終えて帰ろうと山道を下っていくと、連日のように何らかの動物に出会います。鹿やキツネ、ウサギにタヌキと実にさまざまです。時にはウサギが走って行ったかと思えばその後をキツネが追いかけていったこともあり。夜の銀河の森はまさに野生の王国です。皆さんもフクロウの鳴き声を聴きながら星空を眺めてみませんか。とても素敵ですよ。(寛)



天文台からのお知らせ

☆ 12月28日(月)~1月5日(火)の期間は、天文台休館日となります。

発行・編集: りくべつ宇宙地球科学館(銀河の森天文台)

〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 0156-27-8100 FAX: 27-8102

URL: <http://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>

E-mail: ginga@rikubetsu.jp